Heartful Technology
Yushin

株式会社ユーシン精機

2017年3月期第2四半期

決算説明会

代表取締役社長　小谷眞由美

2016年11月7日

東証第一部　証券コード6482

本資料には、業績に関する将来予測の記述が含まれております。これらの記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化等により、実際の業績とは異なる可能性があることにご留意ください。又、本資料は財務情報、経営情報等の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券への投資を勧誘するものではありません。

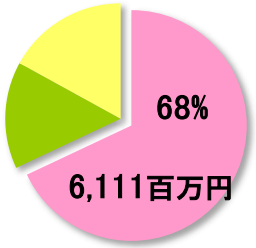
会社概要

社名	株式会社ユーシン精機
代表者	代表取締役社長　小谷 眞由美
設立	1973年10月
資本金	19億8,566万円
社員数	659人（2016年9月末現在、連結）
連結売上高	211億円（2016年3月期）
上場	東証第一部
証券コード	6482
売買単位	100株

製品ラインアップ (1)

取出ロボット

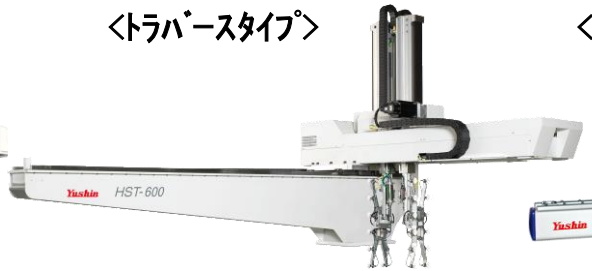
売上構成比



2017年3月期
第2四半期

HSAシリーズ
<トラバースタイプ>

HSTシリーズ
<トラバースタイプ>



RCシリーズ
<トラバースタイプ>

YCシリーズ
<トラバースタイプ>

SCシリーズ
<トラバースタイプ>

TSXAシリーズ
<サイドエントリータイプ>

HOPシリーズ
<スイングタイプ>

<竪型成形機用>

DRDシリーズ
<サイドエントリータイプ>
(光ディスク専用)

SXCシリーズ
<サイドエントリータイプ>

製品ラインアップ (2)

特注機

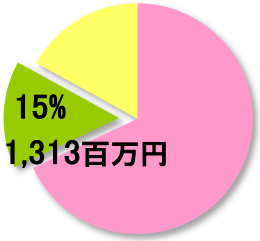
フレキシブル
モジュールストッカ

インモールド装置

ゲートカット
システム

パレタイジング
ロボット

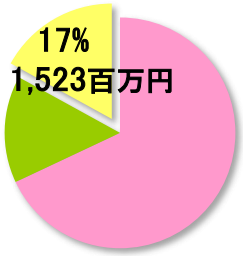
売上構成比



2017年3月期
第2四半期

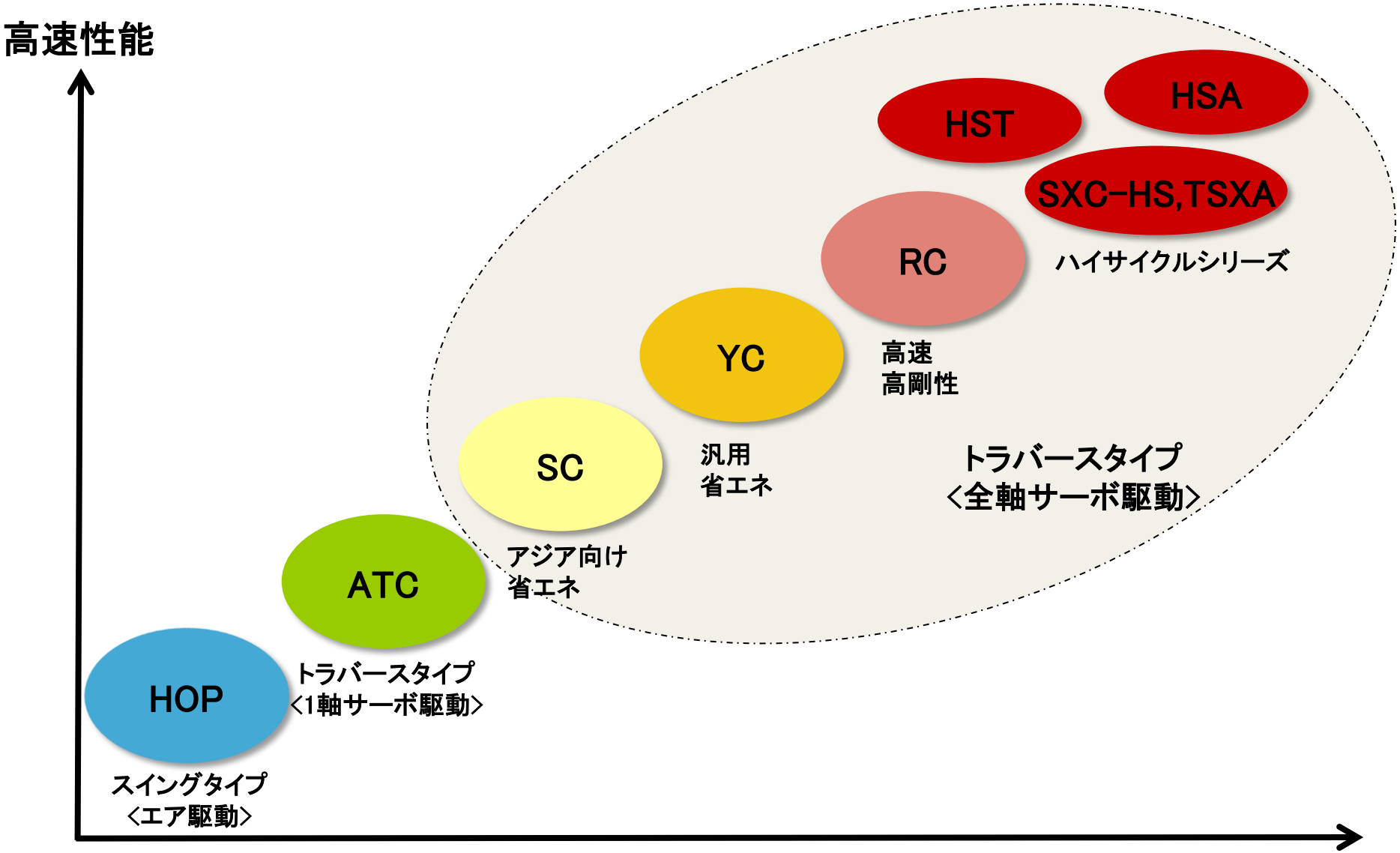
部品･保守サービス

売上構成比



2017年3月期
第2四半期

取出ロボットの性能と価格



当社の特徴

理念・方針	➢ ユーザーの要望に応える高品質なものづくり ➢ 新規事業分野への挑戦
グローバル展開	➢ 海外売上比率の高さ ➢ 業界一のグローバルな拠点網とサポート体制
顧客からの支持	➢ 営業、サービスのレスポンスの良さ ➢ 業界をリードする技術力と納期厳守による信用力
安定した財務体質	➢ 設備を最小限にしたファブレス経営 ➢ 無借金経営・自己資本比率の高さ

↓

業界シェア世界第一位

2017年3月期上期実績と通期予想

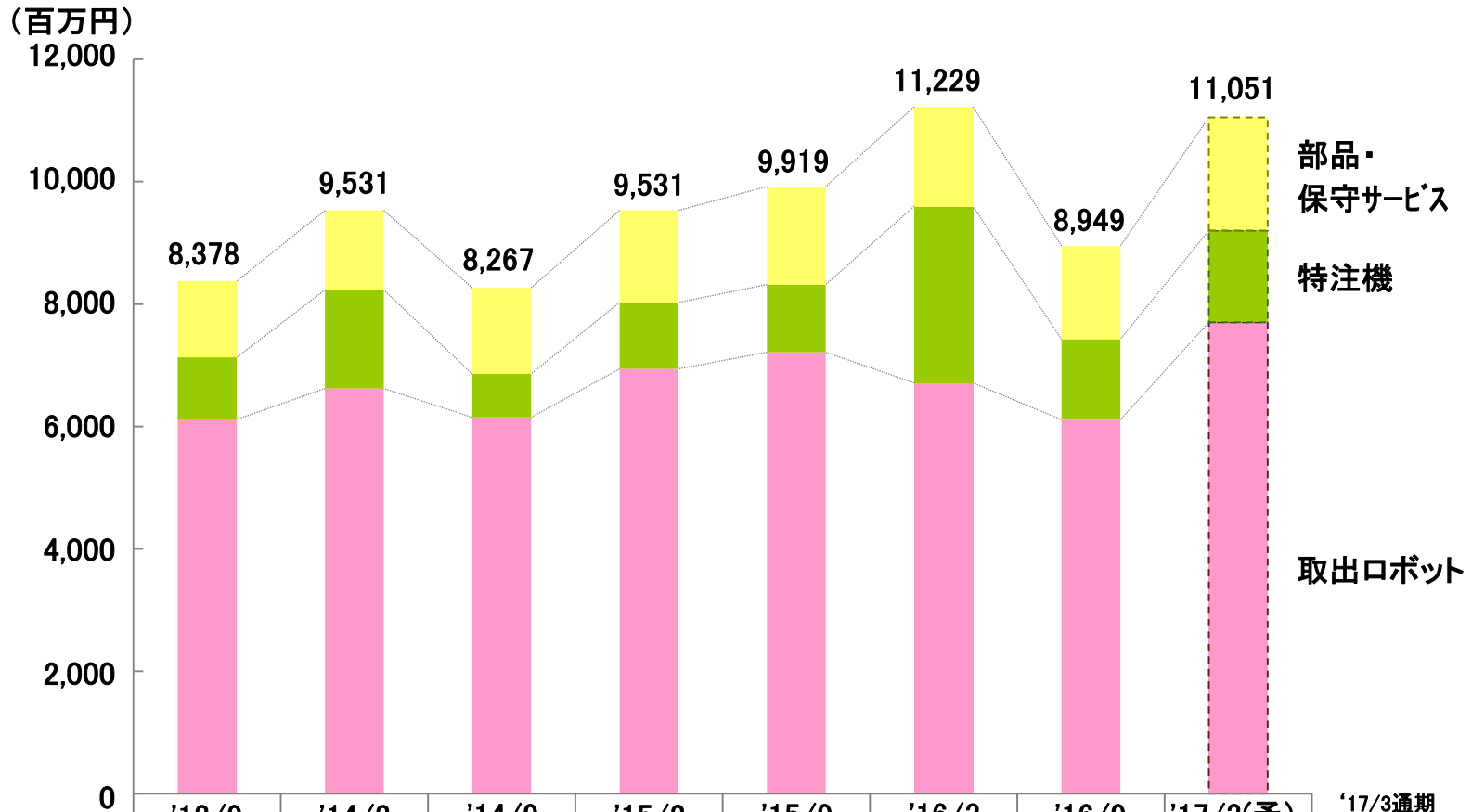
	2017/3上期(実績)			2017/3通期(予想)		
	金額	比率	伸び率*	金額	比率	伸び率*
売上高	百万円 8,949	% 100.0	% △9.8	百万円 20,000	% 100.0	% △5.4
売上総利益	3,787	42.3	△9.1	8,470	42.4	0.3
営業利益	1,343	15.0	△10.6	3,200	16.0	3.7
経常利益	1,150	12.9	△20.3	3,000	15.0	2.7
親会社株主に帰属する当期純利益	849	9.5	△16.2	1,980	9.9	3.7

*対前年上期増減率　　*対前年通期増減率

上期実績の要因、通期予想の前提

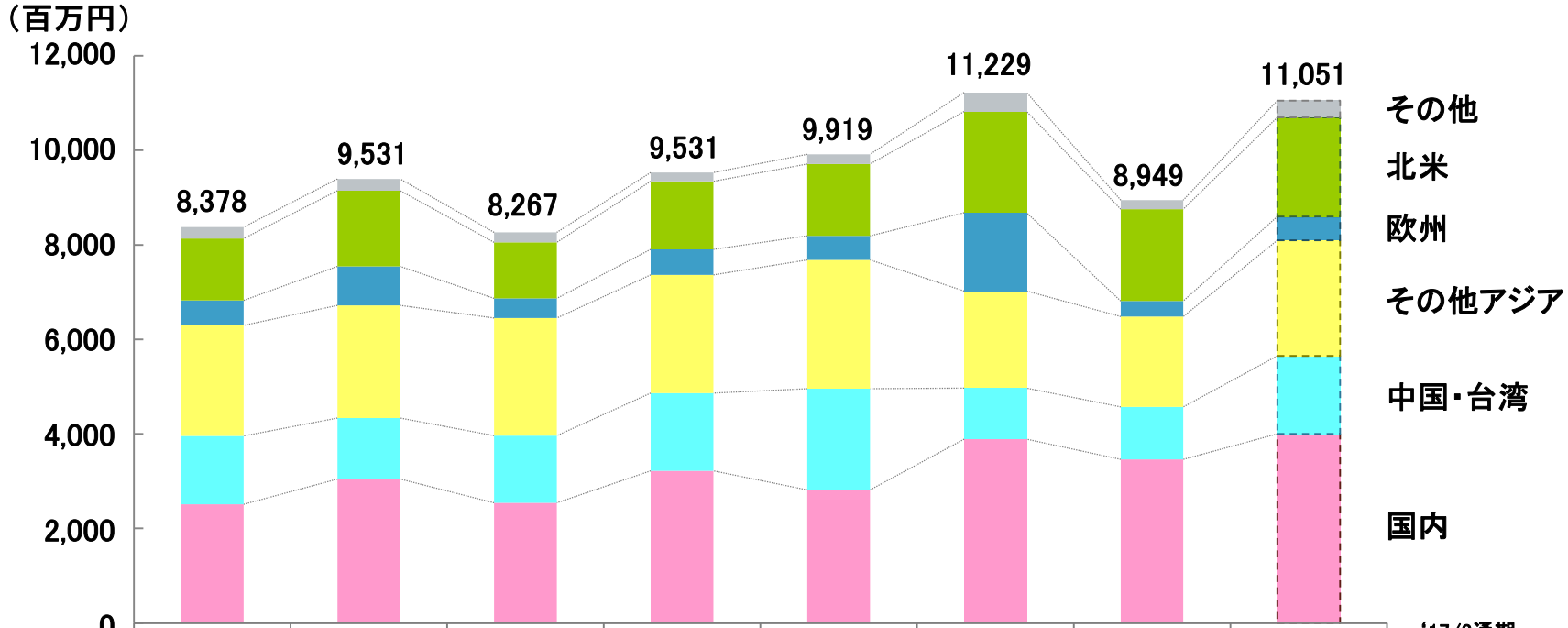
	2017/3上期(実績)	2017/3通期(予想)
売上高	➢ 前年同期比9.8%減の8,949百万円 ・取出ロボットは前期比 15.2%減 －普及機の販売がアジアで減少 －国内及び北米は堅調に推移 －円高による減少 ・特注機は前期比 18.6%増 －国内外での需要拡大 －新規事業分野向け出荷	・取出ロボットは販売数量確保 －北米、メキシコ、東南アジアでの販売増加 －アジアでの復調期待 －円高進行懸念 ・特注機は増加 －国内外の自動化ニーズの取り込み －新規事業分野が順調に推移
営業利益	➢ 前年同期比10.6%減の1,343百万円 ・取出ロボットの販売数量減少 ・円高による影響 ・継続的なコストダウンと中国調達により個別の収益性は向上	・半導体関連機器事業の整理で採算性改善 ・主力機種の収益性向上による利益確保 ・継続的なコストダウンと経費削減の推進

品目別売上高(半期毎)



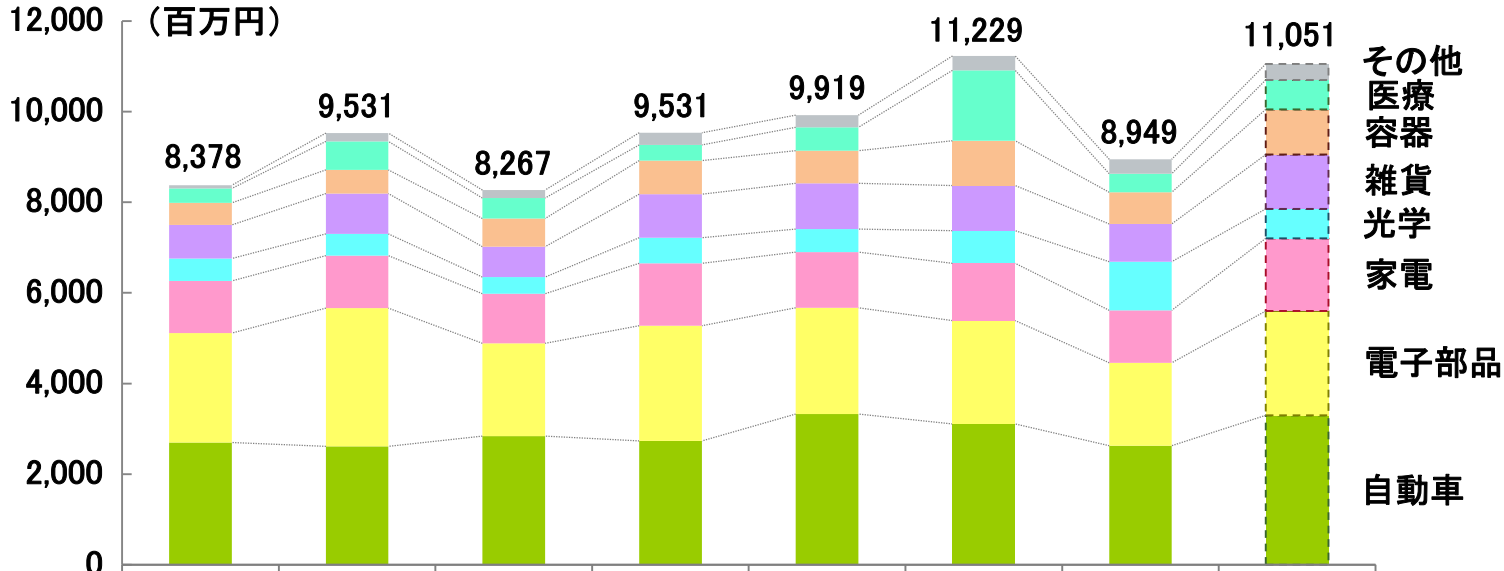
	'13/9	'14/3	'14/9	'15/3	'15/9	'16/3	'16/9	'17/3(予)	'17/3通期(予)
部品・保守サービス	1,247	1,300	1,410	1,501	1,601	1,626	1,523	1,851	3,374
特注機	1,013	1,613	705	1,089	1,106	2,890	1,313	1,500	2,813
取出ロボット	6,117	6,619	6,151	6,940	7,211	6,711	6,111	7,700	13,811
合計	8,378	9,531	8,267	9,531	9,919	11,229	8,949	11,051	
通期合計		17,909		17,799		21,148		20,000	

地域別売上高(半期毎)



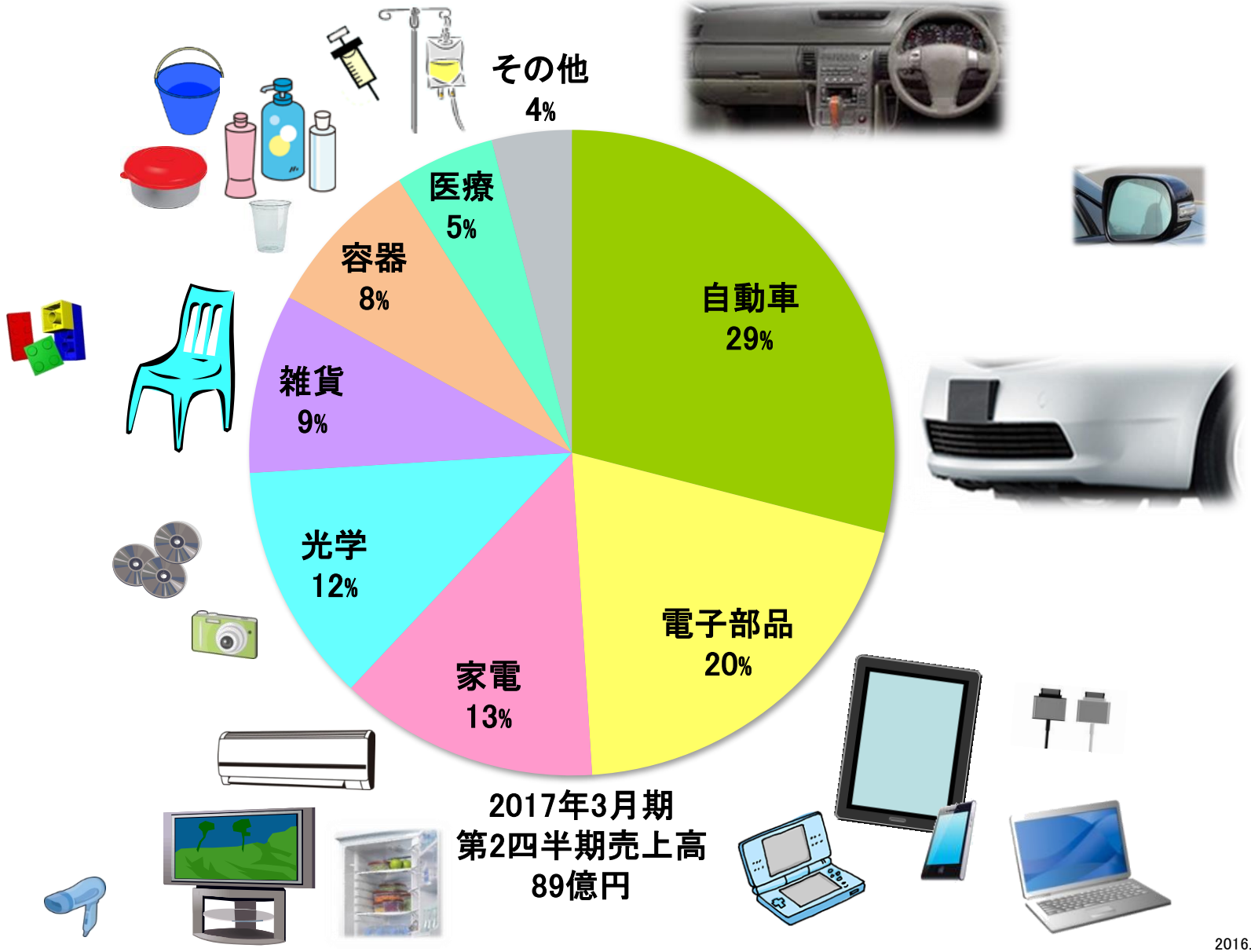
	'13/9	'14/3	'14/9	'15/3	'15/9	'16/3	'16/9	'17/3(予)	'17/3通期（予）
その他	240	244	210	185	203	406	188	351	539
北米	1,313	1,604	1,187	1,441	1,524	2,141	1,946	2,100	4,046
欧州	526	826	417	542	506	1,657	326	500	826
その他アジア	2,340	2,381	2,484	2,498	2,728	2,053	1,911	2,450	4,361
中国・台湾	1,445	1,293	1,421	1,648	2,139	1,081	1,111	1,650	2,761
国内	2,512	3,044	2,545	3,217	2,817	3,890	3,463	4,000	7,463
合計	8,378	9,531	8,267	9,531	9,919	11,229	8,949	11,051	
		17,909		17,799		21,148		20,000	

業種別売上高(半期毎)



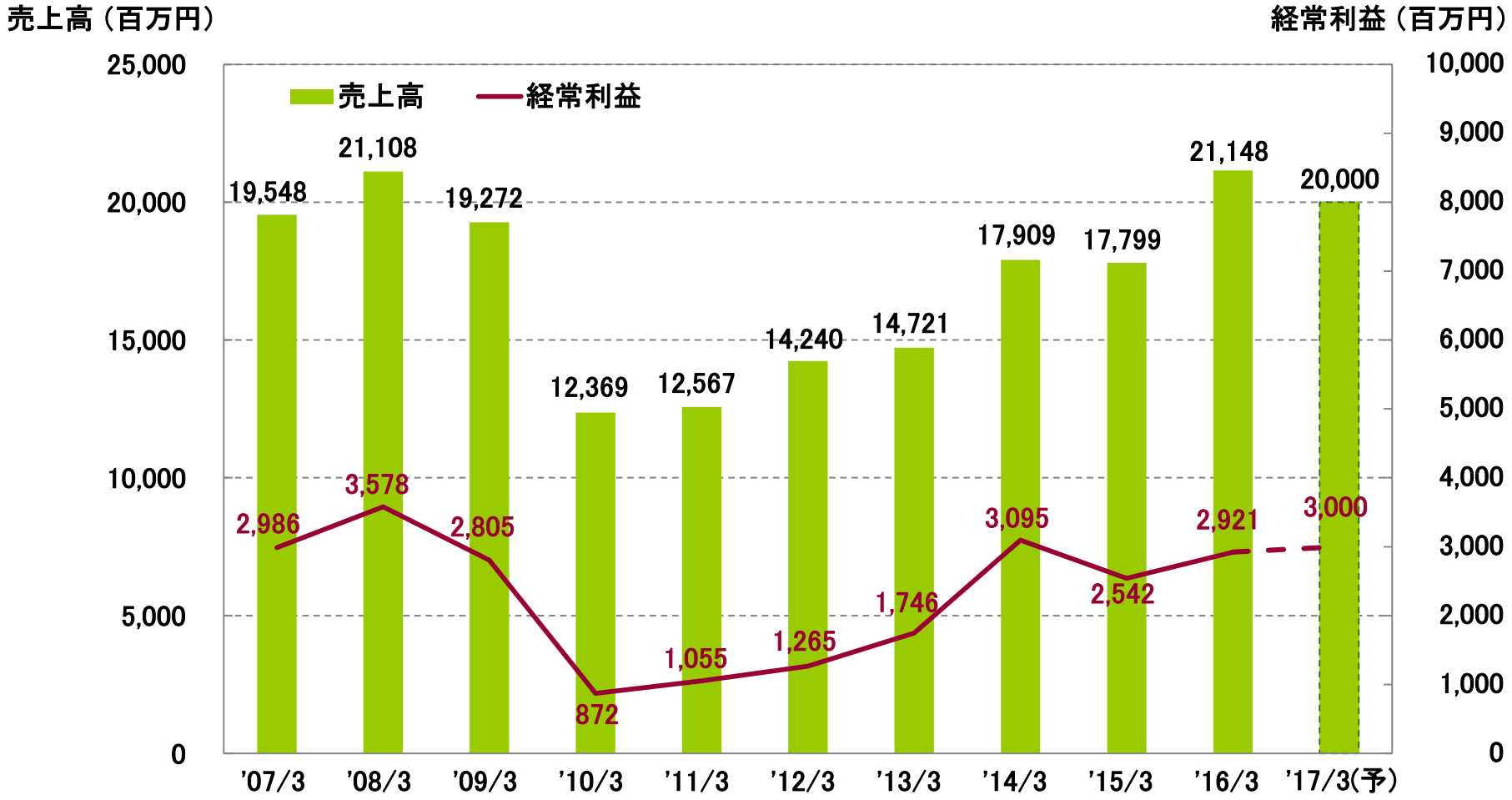
	'13/9	'14/3	'14/9	'15/3	'15/9	'16/3	'16/9	'17/3(予)	'17/3通期(予)
その他	70	187	173	267	265	315	314	351	665
医療	319	630	450	347	518	1,511	413	650	1,063
容器(食品・化粧品等)	490	518	625	737	715	993	696	1,000	1,696
雑貨(家具・コンテナ等)	743	891	670	964	1,010	992	836	1,200	2,036
光学	493	477	368	563	510	722	1,072	650	1,722
家電(AV含む)	1,149	1,159	1,097	1,378	1,234	1,263	1,156	1,600	2,756
電子部品	2,416	3,052	2,047	2,546	2,345	2,284	1,830	2,300	4,130
自動車	2,698	2,614	2,837	2,730	3,322	3,106	2,628	3,300	5,928
合計	8,378	9,531	8,267	9,531	9,919	11,229	8,949	11,051	
		17,909		17,799		21,148		20,000	

業種別売上高構成



2017年3月期
第2四半期売上高
89億円

業績の推移



経常利益率(%)	15.3	17.0	14.6	7.1	8.4	8.9	11.9	17.3	14.3	13.8	15.0

グローバルネットワーク

<子会社>

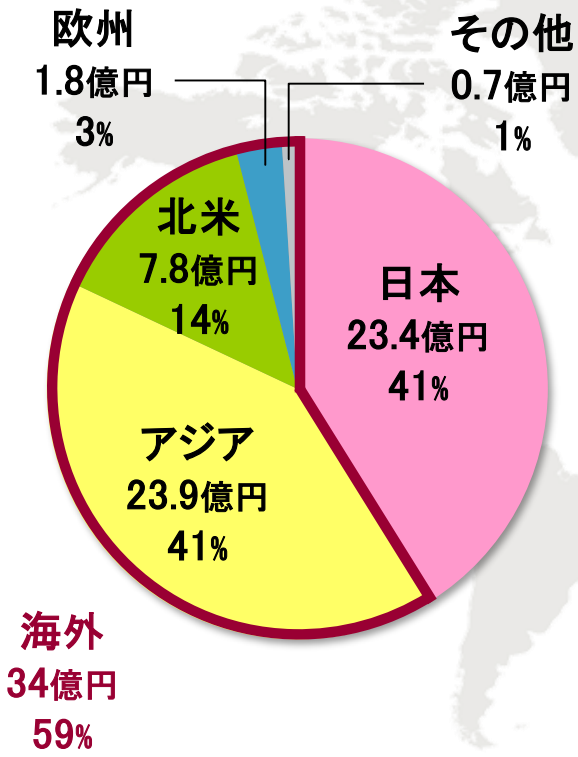
1) 韓国
2) 台湾
3) 中国<上海>
   -天津支店
4) 中国<深圳>
5) インドネシア
6) ベトナム
7) マレーシア
8) タイランド
9) インド
10) イギリス
11) アメリカ
   -メキシコ支店
12) 中国<広州>

<駐在員事務所>

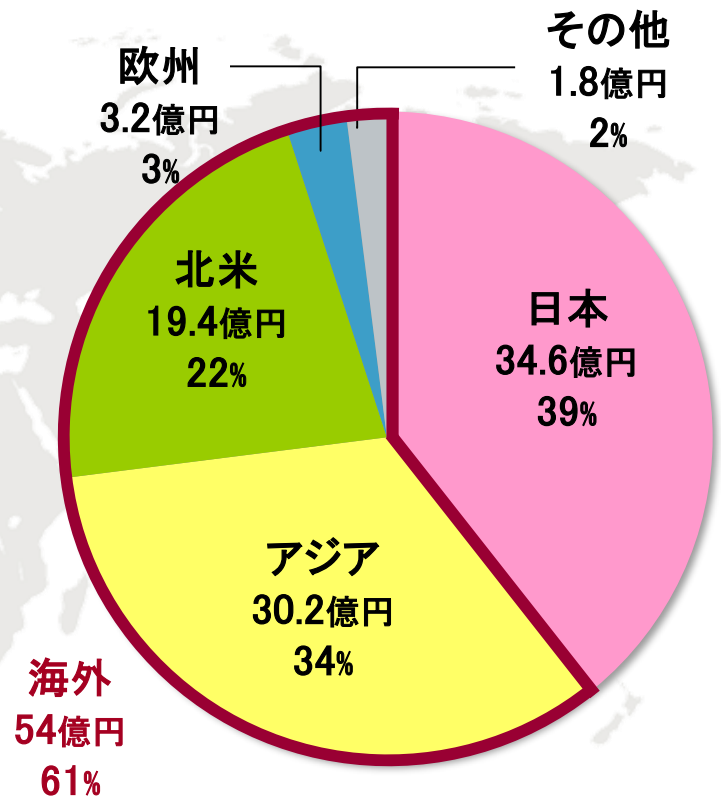
1) フィリピン

海外売上高の拡大

2011年3月期 第2四半期
売上高　57億円



2017年3月期 第2四半期
売上高　89億円



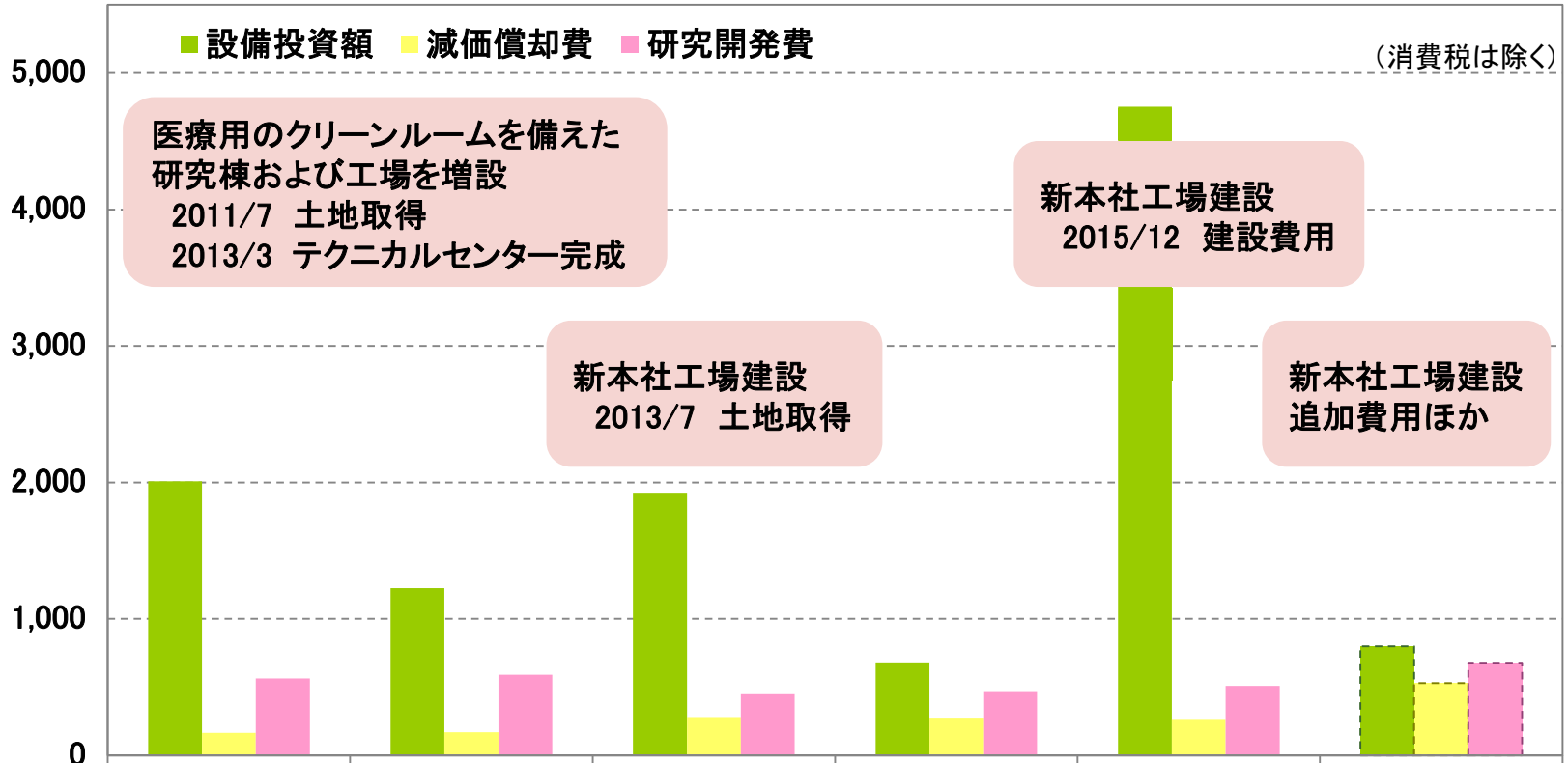
子会社の業績の推移

（百万円）

国　名	設立時期	当社出資比率	2015/3			2016/3			2017/3（見込み）		
			売上高	営業利益	当期利益	売上高	営業利益	当期利益	売上高	営業利益	当期利益
韓　国	2000.10	100.0%	1,874	259	258	1,866	260	167	1,638	150	100
台　湾	2001. 7	100.0%	102	15	7	92	11	20	80	4	3
中国（上海）	2007. 2	100.0%	995	−5	−2	933	14	11	874	13	10
中国（深圳）	2004. 4	100.0%	910	43	33	1,070	46	35	800	40	30
インドネシア	2012.11	99.0%	153	21	12	164	13	6	180	15	5
ベトナム	2014. 2	100.0%	39	−2	−4	77	9	9	80	16	15
マレーシア	2001. 5	100.0%	283	41	27	130	0	−1	191	12	4
タイランド	2001. 8	49.0%	992	145	136	845	156	112	750	100	75
インド	2007. 8	95.0%	26	0	−1	40	10	8	32	2	1
イギリス	2004. 3	95.6%	638	73	47	1,884	229	206	730	25	65
アメリカ	1988.10	100.0%	2,789	274	189	3,583	443	229	3,150	400	250
中国（広州）	2008. 9	100.0%	1,271	273	244	1,277	276	148	1,050	100	0

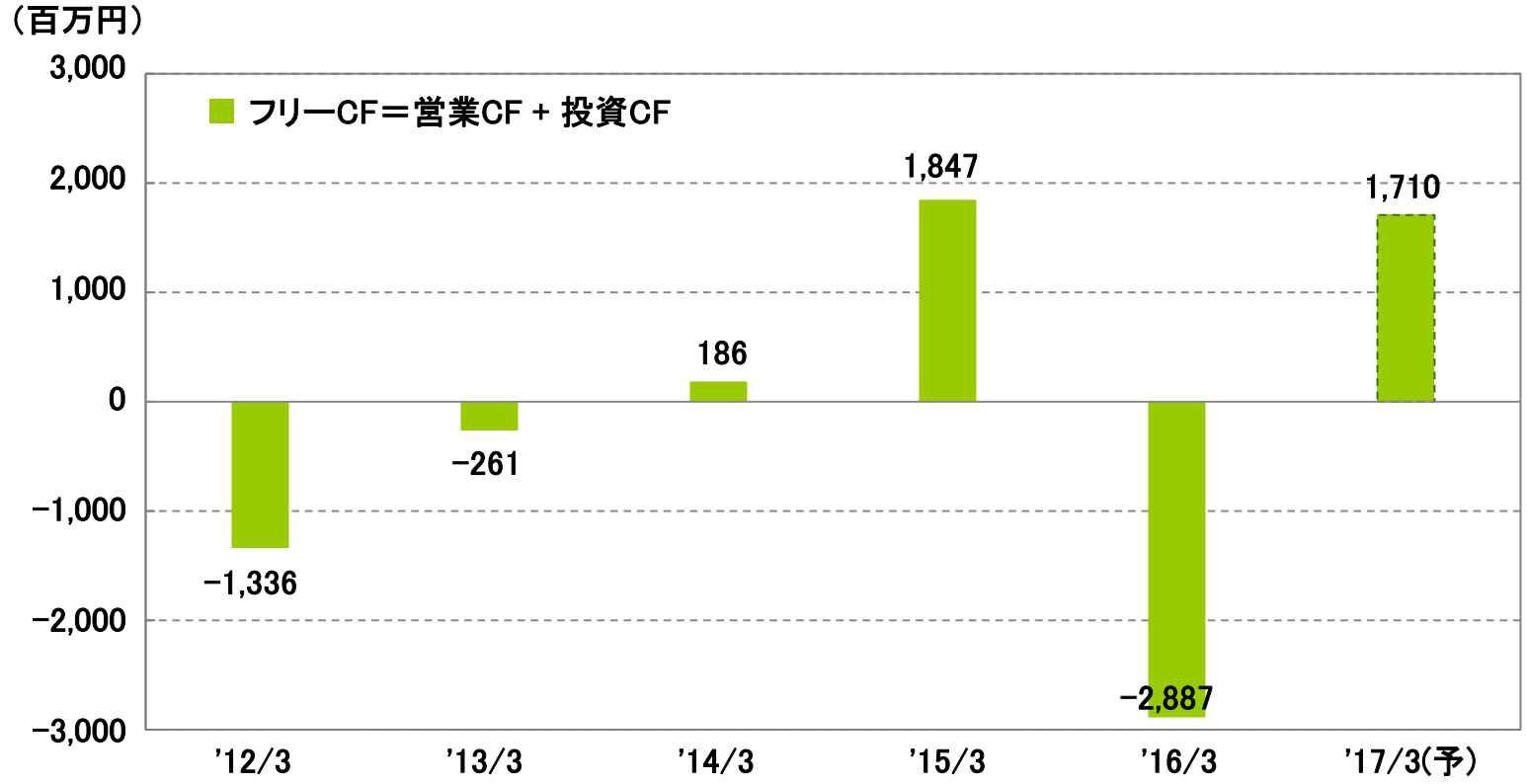
設備投資、減価償却費、研究開発費

（百万円）



	'12/3	'13/3	'14/3	'15/3	'16/3	'17/3(予)
設備投資額	2,009	1,225	1,924	682	4,754	800
減価償却費	166	170	282	277	268	530
研究開発費	565	591	448	472	510	680

キャッシュ・フローの推移



◆営業、投資、財務キャッシュ・フローの推移　（百万円）

	'12/3	'13/3	'14/3	'15/3	'16/3	'17/3(予)
営業CF	584	520	2,575	2,104	2,218	2,720
投資CF	△1,920	△781	△2,389	△256	△5,105	△1,010
財務CF	△409	△351	△569	△560	△677	△690

中期経営目標

2016年3月期

- 連結売上高:　211億円
- 連結経常利益:　29億円
- 経常利益率:　13%
- 1株当たり利益:　109円

2019年3月期

- 連結売上高:　300億円以上
- 連結経常利益:　50億円以上
- 経常利益率:　15%以上
- 1株当たり利益:　150円以上

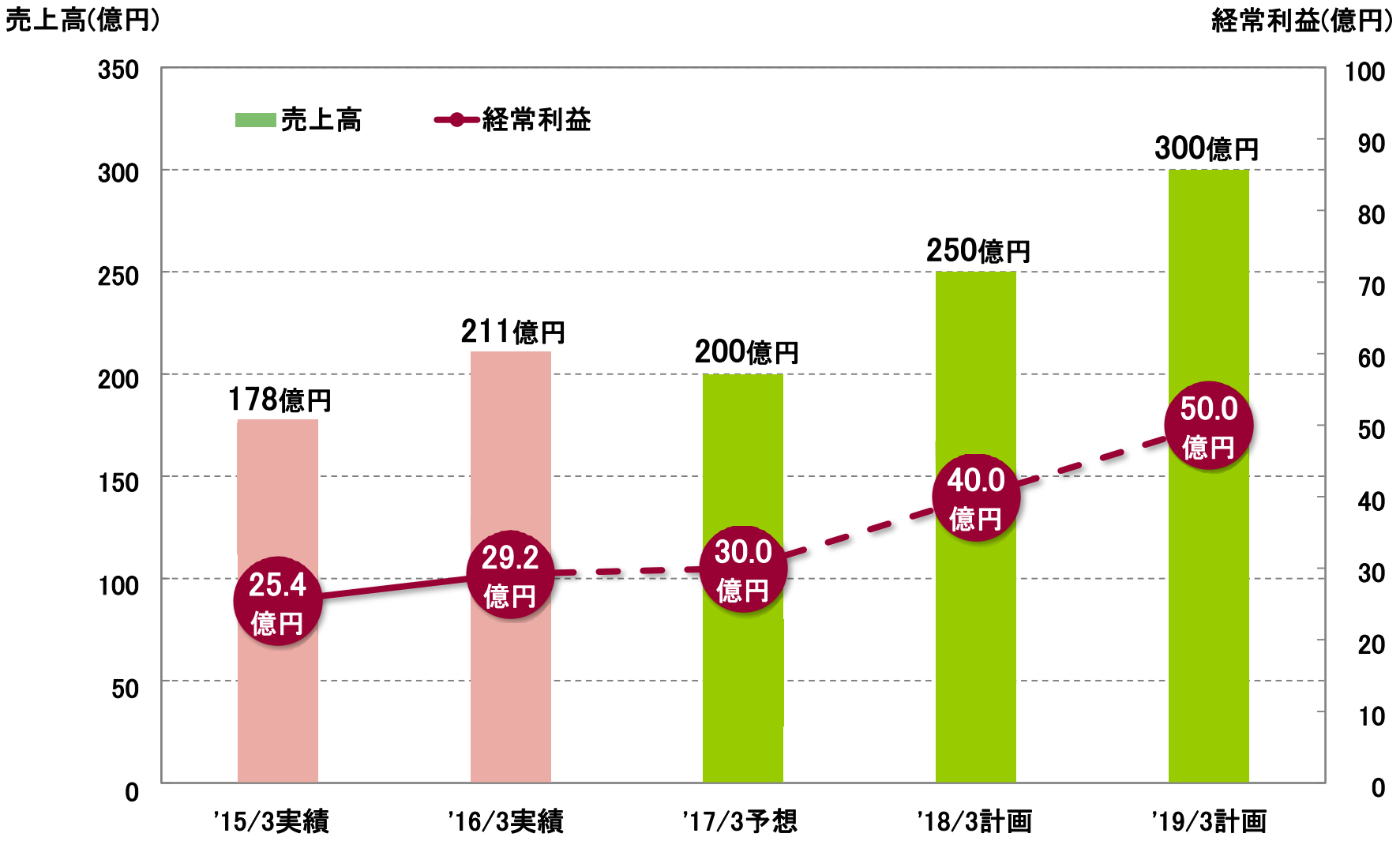
戦略④　新規事業への積極展開

戦略③　人材育成

戦略②　グローバル展開の更なる強化

戦略①　商品力の強化

中期経営目標（年間計画）


売上高(億円)
経常利益(億円)
売上高
経常利益
350
300
250
200
150
100
50
0
100
90
80
70
60
50
40
30
20
10
0
178億円
211億円
200億円
250億円
300億円
25.4
億円
29.2
億円
30.0
億円
40.0
億円
50.0
億円
'15/3実績
'16/3実績
'17/3予想
'18/3計画
'19/3計画

戦略①:商品力の強化(1)

世界初の最適設計技術採用取出ロボット

- K2013(ドイツ)では世界最速の取出タイム0.27秒を達成！
- 2011年度 日本機械学会賞(技術)受賞！
- 写真はK2016(ドイツ)に出展したダブルウィングモデル
- ダブルウィングタイプロボット1台でロボット2台分の動作を実現

<HSA-150-DW>

戦略①:商品力の強化(2)

引抜駆動型取出ロボット

- 大型(長尺)成形品の取出し、搬送を低い全高で実現
- 自動車のバンパー等を自在に扱うことが可能
- NC姿勢制御装置搭載

<K2016参考出展機>

戦略①:商品力の強化(3) – 大学との共同研究

- 京都大学

「3次元最適設計を用いたロボットフレーム構造設計」

→ 軽量で剛性の高い機体づくり

- 大阪大学

「プロダクトデザイン(製品設計)を拡張したロボット設計手法の確立」

→ お客様ニーズや機体の機能・構造も考慮したモジュール化設計

- 同志社大学

「取出ロボットの振動解析に向けた数学モデルの構築」

→ 取出ロボット開発時の振動伝達の予測

戦略②:グローバル展開力の更なる強化

- 顧客の世界展開に対応できる総合力
- 世界各国のトップクラスの企業がターゲット顧客
- 世界の主要地域に営業・サービス拠点を配置
- 本社における継続的なグローバル人材の積極採用

戦略③:人材育成

- 大阪大学との共同研究によるプロダクトデザインの実施により、高度な技術を持つ設計者を育成
- ISO12100(機械の包括的な安全基準)に対応した資格者(セーフティアセッサ)の育成
- 各種研修の実施
  上級テクノスクール技術研修、マネジメント研修、海外トレーニー制度

2016年12月に本社工場竣工・移転

- 連結売上高300億円（2019年3月期）を達成するための新本社工場建設
- 生産性向上と業務合理化を推進し、グループの持続的成長を目指す

土地：20,597㎡　　延床面積：20,068㎡　　※保育施設計画中

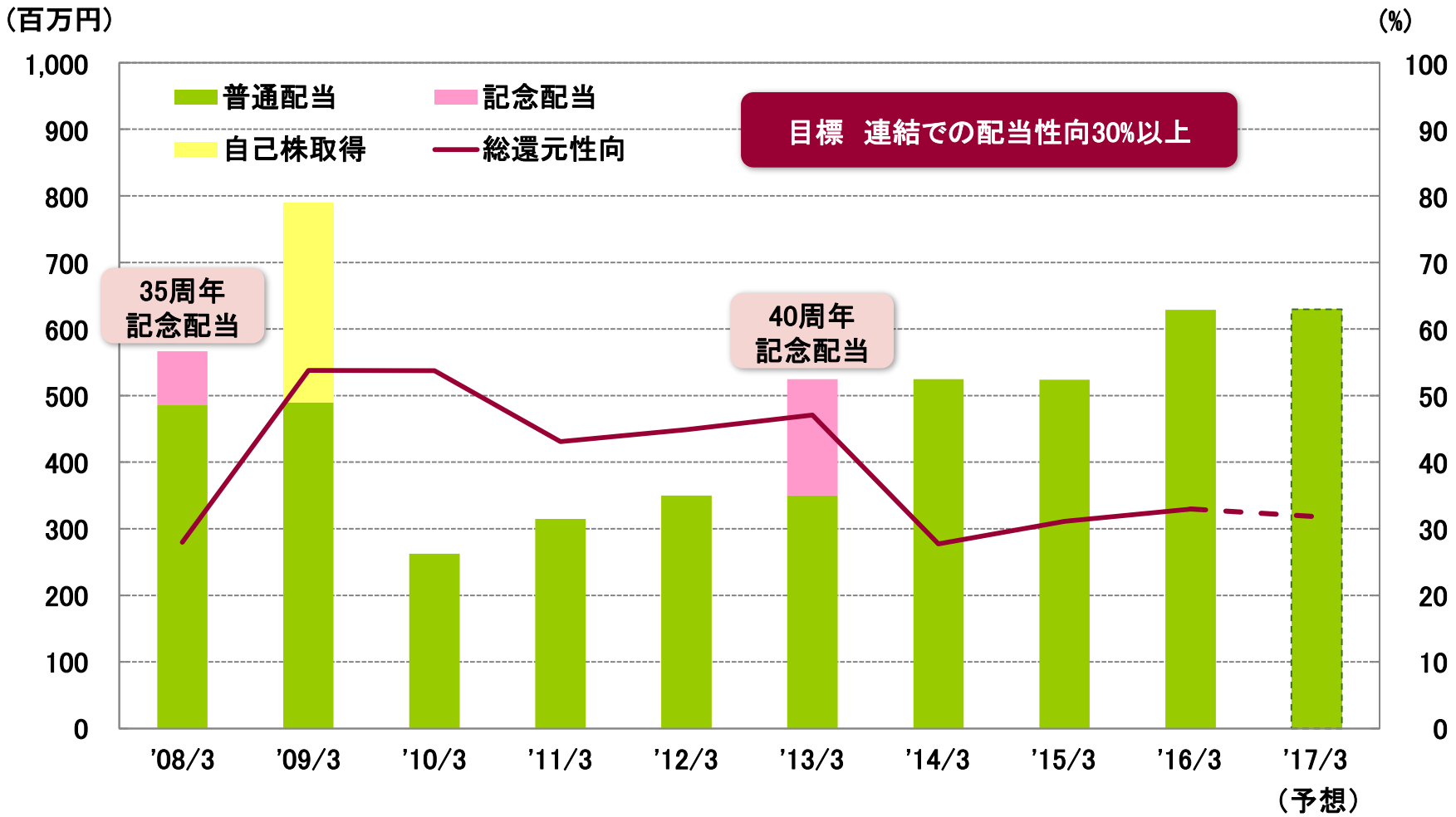
2016年12月に本社工場竣工・移転

- 生産エリアの集約
  - ・部材や機体の受入れから組立・検査・出荷までを一貫し、生産性を向上
- 大型機の受注拡大
  - ・射出成形機の型締力2,000t クラス以上に対応する大型取出ロボットを組立・検査するスペースの拡大
  - ・従来の2階層吹き抜けを3階層吹き抜けとし、ピットも含めて高さを確保
- コミュニケーションの活発化による業務の合理化、高度化
  - ・4階フロアに営業・開発・設計・管理の各部署を集結

↓

本社工場の生産能力を約2倍に拡大

株主還元策



年間配当	35円	28円	15円	18円	20円	30円	30円	30円	36円	36円

Heartful Technology
Yushin

株式会社ユーシン精機

問合せ先 ： 株式会社ユーシン精機 経営企画室

（TEL）075-933-9555 （E-mail）irinfo@kyo.ype.co.jp

www.ype.co.jp

注意事項：

本資料には、業績に関する将来予測の記述が含まれております。これらの記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化等により、実際の業績とは異なる可能性があることにご留意ください。

又、本資料は財務情報、経営情報等の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券への投資を勧誘するものではありません。

本資料の転載はご遠慮下さい。